

市民の幸せをつくるために

ふくおか市民政治ネットワーク・古賀

代表 大田るり子

子育て世代の母親たちが、暮らしの課題を解決しようと古賀市にふくおか市民政治ネットワークを設立して今年で30年になりました。市民の幸せをつくる道具として政治を使いこなし、議会の空気と社会の制度を変えるため女性議員を送り続けてきました。

時代は令和、コロナ禍のわたし達は幸せでしょうか。子ども達は、幸せでしょうか。政治は、わたし達の幸せのために働きましたか。

例えば、「民間部門時給の変動率(1997年～2018年 OECD 調査)」の時給増加率は、韓国 167%、イギリス 93%、アメリカ 82%、フランス 69%、ドイツ 59%。一方、**日本はマイナス 8%**。さらに、消費税増税の影響で消費は冷え込み、経済への影響は多大であり、アベノミクスの経済戦略は大失敗でした。

わたし達は、感染症に怯え、不況に苦しみ、追い詰められています。政治は胡散臭い、面倒くさい、分からない。わたし達が、政治をほったらかし政治家に丸投げしてきた今、日本は転落途上国となりました。

9月には、菅政権が誕生し衆議院解散総選挙が目前と変わっていました。このニュースが、みなさんのお手元に届く時にはもう、国政選挙に突入しているかも知れません。

国会を腐らせた、利権政治、男政治、老害政治、世襲政治に別れを告げましょう。市民の幸せの政策を見極めて、議員を選びましょう！選挙に行きましょう！



みんなが政治を使ったら

- 奨学金がなくても大学に行ける
- みんな正社員になれる
- 給料が増える
- 旅行や買い物を楽しめる
- 安全で美味しいご飯が食べられる
- 病気や障がいや介護の不安もなし
- 幸せな出産と楽しい育児ができる
- 子どもがのびのび育つ
- 幸せな老後を過ごせる
- 農林水産業や自営業や中小企業が元気
- とかとか…。
- すごいじゃん！

古賀市に提案！

コロナ禍の防災

災害時の情報発信の視点

いのちを守るために行政のこまめな情報発信
さらに情報を隅々まで届けるための工夫
孤立を防ぐため市民が伝え合い助け合う行動

避難所の感染症対策の視点

密を避ける安心安全な避難所
行政と地域が連携した避難所訓練
自宅避難者への支援

伊東ようこの提案

感染症対策の視点で考えよう！

- 避難所の増設
- 防災ラジオの普及
- 職員の避難所開設訓練
- 避難所運営マニュアル
- 職員と地域の連携訓練



古賀市防災メール登録を！



平成31年度決算

一般会計

歳入 229億8千705万円
 歳出 221億8千594万円
 黒字 8億111万円

小中学校にエアコンがつけました！

市民とネット古賀が、長年要望してきた学校の空調設備が全ての普通教室・特別教室に設置完了しました。酷暑の中、子どもたちの健康が守られ大変嬉しく思います。

古賀市独自予算で、少人数学級やスクールソーシャルワーカー・スクールカウンセラーの人的配置が継続できました。コガバスの停留所増設やダイヤ見直しで、利用者が増えました。

補正予算 総額5億3千354万円

事業創出創業支援(薬王寺温泉) 5,200万円
 災害時避難所感染防止備品購入 2,100万円
 新生児特別定額給付金 4,300万円
 全10事業

一旦、古賀市独自予算とした後、国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」が使える見込みです。

国のお金を市民のために使うことは良いと考えますが、困窮者への給付金などソフト面の充実が喫緊の課題です。

議会報告

古賀市議会議員

伊東ようこ



伊東ようこは、平成31年度決算および全ての議案に賛成しました。



「少人数学級の推進」と「義務教育費国庫負担制度の拡充」を国の関係機関に求める意見書に関する請願

子どもの健全な学習環境のため、少人数学級の推進は必須です。

文部科学省は、新型コロナウイルス感染防止の観点から30人学級の検討を始めています。教員・教室の不足財源など、解消すべき課題があります。